



天体ニュース



ふたご座流星群は、12月14日、15日が見ごろ!

ふたご座流星群は、三大流星群の1つで、安定して多くの流星が観測されています。1年間に見られる流星群の中でナンバーワンと言われています。

今年は、12月14日頃に流星群自体の活動が最も活発になり、15日未明にも多めの流星が期待できそうです。

冬番組 「プラネタリウム 夜空を彩る冬の星」

〈内容〉

冬の夜空は、明るい1等星が多く、色々な色の星や、肉眼でも見える星雲や星団でかがやき、1年で一番綺麗な星空です。

上空の空気の流れが強く星がキラキラ瞬いてみえます。

冬の代表星座のおおいぬ座。このおおいぬ座にあるシリウスは、全天で一番明るい星です。

このほかにも、冬の星や星座を紹介します。

ぜひ、宝石のように輝く星をご覧ください。

また、オリオン座とおおいぬ座、二つの星座のお話もあります。

平日投影	12月15日(水)	午後2時から2時30分
土日投影	12月5日(日)	午後2時から2時30分
	12月26日(日)	午後2時から2時30分

定員30名

投影開始15分前までには、児童館玄関から入館してください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
入館する際は必ず『名前・連絡先』の記入、

小学生以上の児童・生徒は必ず

『名前・学校名・学年・組』

マスク着用と検温・手指の消毒をお願いしています。

また、状況により投影を中止させていただく場合があります。

今月の星座紹介(オリオン座)

オリオン座は、冬の夜空を代表する星座で、3つの2等星が並んだ「三ツ星」が目印です。近くには「冬の大三角形」もあるので探してみてください!

ギリシャ神話では、オリオンは、乱暴者であったために神が送り込んだサソリに刺されて、亡くなってしまいました。それ以来オリオンはサソリを恐れるようになったと言われています。

オリオン座が冬の空に昇るのは、夏の空に嫌いなさそり座が昇っているからだと言われています。

